

# 熊野町の小・中学生の学力 県内トップクラス 全国調査でも好成績

今年6月に実施された、広島県の「基礎・基本」定着状況調査において、町内の小・中学校が県内でもトップクラスの成績を収めました。

今年度における熊野町の成績は、昨年度のものを上回り、小学校では、全ての教科において県内23市町の中で7位以内、中学校でも同じく1教科を除いて1、2位以内という、大変すばらしい結果を残しました。

## 【広島県基礎・基本定着状況調査の目的】

- (1) 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力・表現力などの状況を把握する。
- (2) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- (3) 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 調査結果をもとに児童生徒の学習の到達度を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。

## 【全国学力・学習状況調査の目的】

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) これらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、本年4月に全国で実施された「平成25年度全国学力・学習調査」においても、小・中学校の全ての教科で平均を上回る好成績を残しました。

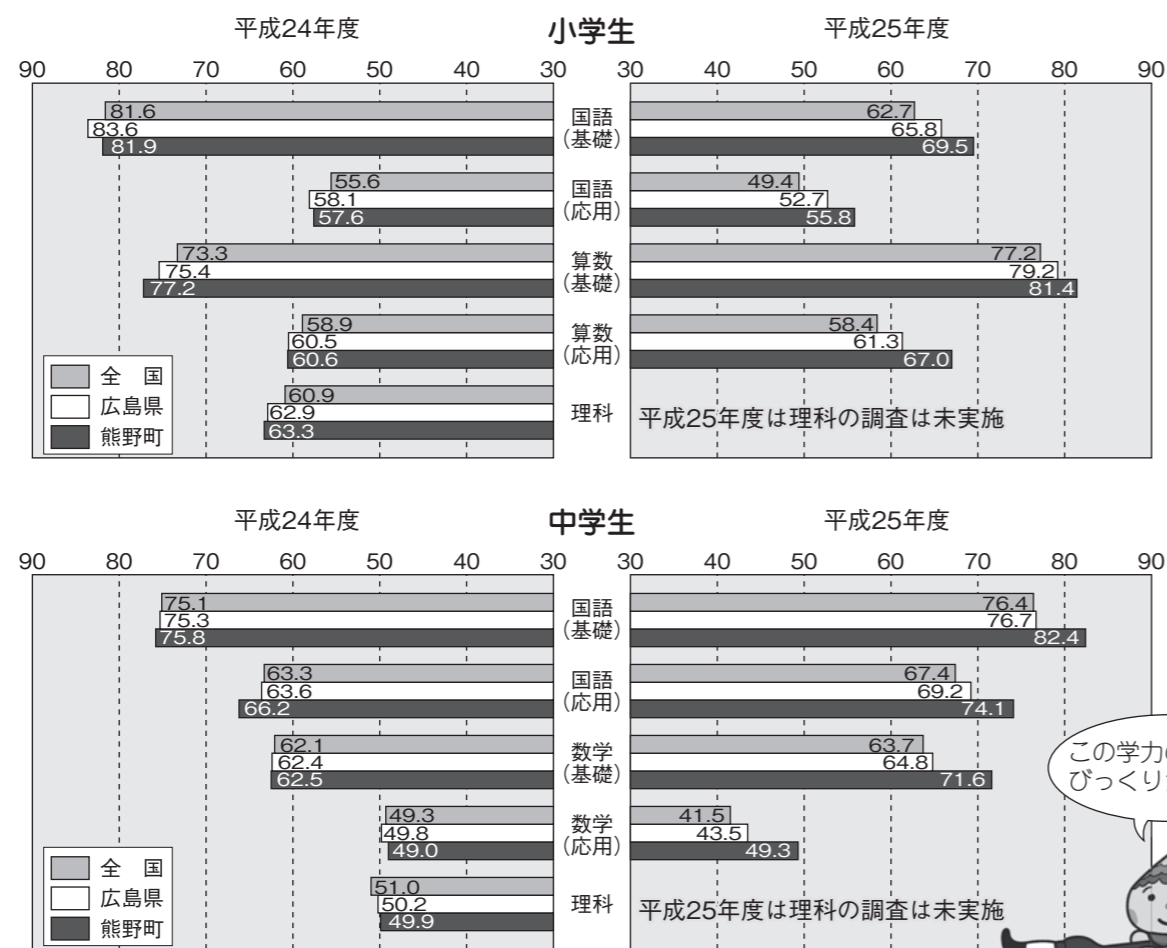
これら2つの調査の結果は、平成23年に策定した「第5次熊野町総合計画」において掲げる「ひとを育む」施策のうち「基礎学力の向上」への取り組みの成果が、早くも現れたこととなります。

こうしたすばらしい結果は、児童生徒のがんばりはもとより、家族の皆さんのご支援と教職員の努力の賜物ですが、今後もこの結果に満足することなく、児童生徒の学力の維持向上に積極的に取り組むとともに、これら以外の「ひとを育む」教育についても、力を入れた施策を推進していきます。

(学校教育課)

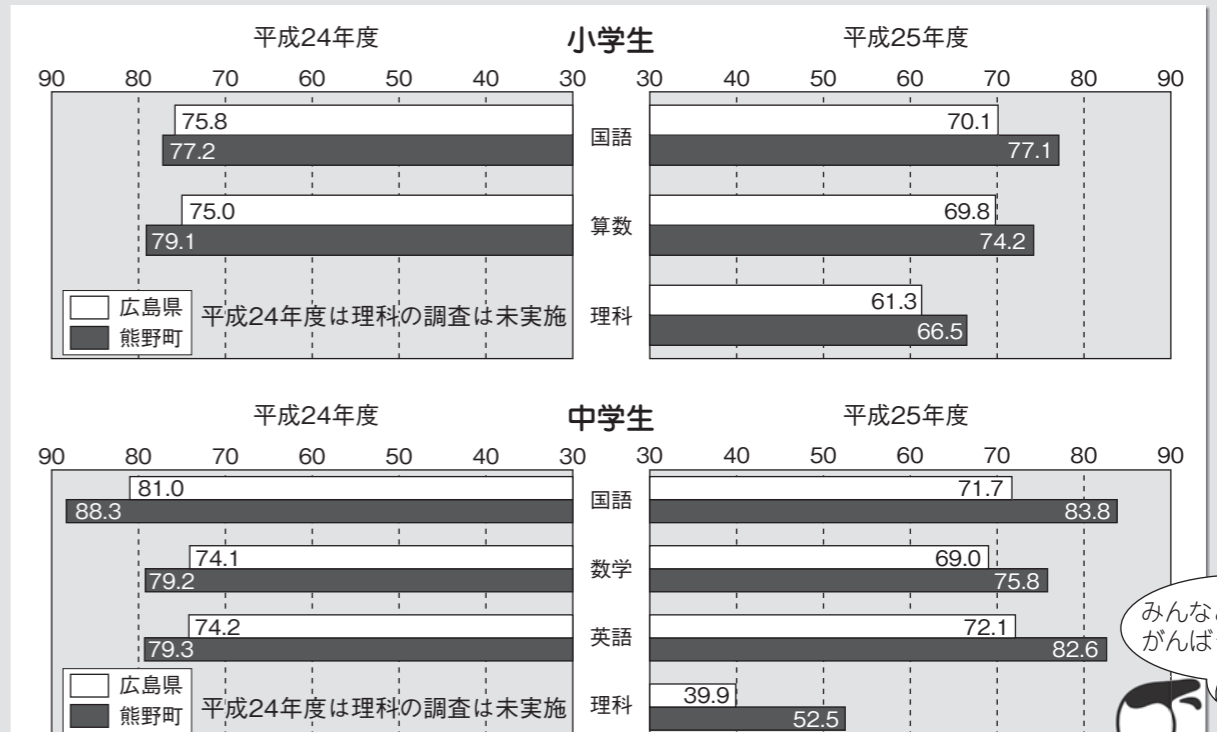
## 全国学力・学習状況調査 (平成24年度・平成25年度比較)

この学力調査は、小学6年生と、中学3年生を対象として毎年実施されるものです。また、今年度から理科が廃止され、小・中学校ともに2教科(国語・算数(または数学))について、その学力や学習状況について調査が行なわれました。



## 広島県「基礎・基本」定着状況調査 (平成24年度・平成25年度比較)

この学力調査は、小学5年生と、中学2年生を対象として毎年実施されるものです。また、今年度から理科が追加され、小学校においては3教科(国語・算数・理科)、中学校で4教科(国語・数学・理科・英語)について、その学力の定着度合いについて調査が行なわれました。



※上記記載の数値は、「正答または準正答を解答した児童生徒の割合」を教科全体等で平均したものです。

※上記記載の数値は、「正答または準正答を解答した児童生徒の割合」を教科全体等で平均したものです。

### 【分析】

平成24年度においては小学・中学ともに全国や県平均を下回る教科がありました。平成25年度では全ての教科で平均値を大きく上回り、飛躍的な学力の向上が見られます。

### 【分析】

小学・中学ともに平成24年度にすでに県平均を上回っていますが、平成25年度ではさらにその差が大きくなり、1年で確実に学力が向上したことが分かります。